

[企業での知財マネジメントに関する種々の役立ちコンテンツの紹介]

知財塾は1回120分間で運営します。質疑応答の20分間を考慮すると、実質的な講演時間は100分間となります。

100分間になるように、以下の諸コンテンツの中から興味のあるものを選択して下さい。

ジャンル	コンテンツ	講演時間
攻防	①警告・被警告から侵害訴訟までの実務ノウハウ	40分間
	①他社問題特許のマネジメント、②警告・被警告から侵害訴訟までの具体的な流れ、③侵害性判断と有効性（特許性）判断、④特許庁での特許性判断（2階建て）と裁判所での侵害性判断（3階建て）	
社内の知財マインドアップ	①社内知財教育の全体像	10分間
	②発明の捉え方	5分間
	③国内外特許権利化活動の全体	5分間
	④取れる特許より取りたい特許 [排他性強化活動]	5分間
	⑤共同出願 & 特許保証要求への対応	20分間
	⑥全社展開できる『見える知財活動』の一例紹介	5分間
経営とのコミュニケーション	①IPランドスケープへの取り組み	30分間
	①積水化学での試行錯誤、②M&Aと知財デューデリジェンス、③担当者の人材育成、④社内展開のポイント	
これからの知財活動	②知財活動の経営貢献の見える化	30分間
	①定量表現と定性表現、②経営陣の興味の対象は・・・、③知財貢献利益算出の具体例、④経営トップへの3分間スピーチ	
	③知財部門マネジメントの最初の一步	10分間
	①知財部員の意識変革の醸成	20分間
	②先取り型知財活動と経営・知財サイクル	10分間